

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和7年第13週 (3月24日～3月30日)

4月

新型コロナウイルス感染症の報告が増えています

竹田地域における今週の8医療機関(1医療機関休診中)の総数は29名と先週に比べ増加しました。大分県全体の定点あたりの患者数は2.83と先週の3.81と比べ低くなっています。

インフルエンザと同じように飛沫と接触で感染する病気です。感染予防のため、人ごみでのマスク着用と手指消毒、こまめに手洗いやうがいを行う事などを心がけてください。新学期・新年度で体調を崩しやすい時期です。体調が悪い時は、無理せずゆっくり休みましょう。

麻しん（はしか）にご注意ください

現在国内で、海外から帰国した人や、発症者と同じ公共の交通機関を利用したり、同じ場所にいた人などで麻しん感染が確認された事例が報告されています。麻しんは空気感染するため、手洗いやマスクだけでは防げず、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現するといわれています。もし「麻しんかも」と思う状況や症状が現れたら、必ず事前に医療機関へ電話連絡して、指示に従うようにしてください。公共交通機関などの利用も避け、感染を広げないように注意をお願いします。

一番有効な対策は予防接種と言われています。旅行（特に海外）を予定しているかたは、未接種であれば予防接種を検討すること、旅行先の患者発生情報などに注意することが大事です。また、定期予防接種の対象の方は必ず接種を行いましょう。近年、2回目にあたる、小学校入学前1年間の方の接種率が低い傾向となっているため、忘れないように気をつけましょう。

<定期予防接種対象者> ・1回目：1歳児 ・2回目：小学校入学前1年間の小児

(第13週)

(調査医療機関8か所の総患者数：ただし1医療機関は休診中)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（みずぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎	麻しん（全数報告）	風しん（全数報告）	百日咳（全数報告）	つつが虫病（全数報告）
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳																			
4～6歳				2															
7～9歳			1																
10～14歳		3		1				1											
15～19歳		2																	
20歳以上	2			26				3											
今週	2	5	1	29				4											
	8																		
70歳以上（再掲）				14															
先週	1	10		12			2	8						1					

